


## 中央大学特定課題研究費 一 研究報告書一

所属	経 済 学 部	身分	教授
氏名	新 井 洋 一		
NAME	ARAI, Yoichi		

## 1. 研究課題

(和文) マルチ英語母語話者コーパス構築に関する諸問題

(英文) Problems concerning Constructing the Corpus of Multiple Native English Speakers

## 2. 研究期間

2年間 (2017~2018年度)

## 3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

英語の言語分析のために、多くの英語データベースが構築されている。しかしながら、英語母語話者による音声データコーパスに基づく研究成果はまだまだ少ないのが現状である。本研究では、既存の大規模コーパスのひとつである BNC の母語話者部門の分析をおこない、そこに収録された英語母語話者の音声コーパスを外観した上で、英語母語話者コーパスが構築される際に、どのような問題点があるのかを探った。

同時に、英語母語話者コーパスのデータを深く掘り下げ、最終的に、特に以下の観点に焦点を絞ってデータ分析を行い、それぞれの観点到に密接に関係する言語事象について考察し、英語母語話者コーパスの長所と意義を明らかにした。

1. 女性と男性のジェンダー比較
2. 0~14歳、15~24歳、25~34歳、35~44歳、45~59歳、60歳以上の年代別比較
3. 日常語の対話と、演説・講義・ニュースなどの公的発話の比較
4. 母語話者の社会的階層別比較
5. ロンドンとその他の地域の母語話者の比較
6. その他

(英文)

The present research has made clear the merits and significance of the corpus of native English speakers by analyzing spoken component of British National Corpus in terms of the following aspects:

1. gender (male vs. female)
2. age (0-14, 15-24, 25-34, 35-44, 45-59, 60+)
3. vernacular dialogue vs. speech such as public speech, lecture, news broadcasting, etc.
4. social classes
5. residential difference (London and other area)
6. others